

まちを守るくらしを守る

防災公園街区整備事業を活用したまちづくり

UR都市機構では、これまで阪神・淡路大震災や東日本大震災などの復興支援で得た経験を今後の安全なまちづくりに活かそうと、地方公共団体とともにさまざまな防災への取組をおこなっています。

本誌では、UR都市機構の「防災公園の整備」と「周辺市街地の整備改善」を一体的に実施する、防災公園街区整備事業を活用した地域課題の解決や防災・減災の取組をご紹介します。

Contents

CHAPTER 1 都市を取り巻く社会状況

- 1 多様な地域課題への対応 p2
- 2 激甚化する自然災害 p2
- 3 柔軟に使いこなす公園の視点（ニューノーマルへの対応） p2
- 4 SDGs（持続可能な開発目標） p2

CHAPTER 2 防災公園街区整備事業による都市の課題解決

- 1 多様な地域課題への対応 p3
公共施設の再編、密集市街地整備、賑わい創出、少子高齢化
- 2 激甚化する自然災害 p7
浸水・洪水、地震・大火
- 3 柔軟に使いこなす公園の視点（ニューノーマルへの対応） p9
ニューノーマル

CHAPTER 3 防災公園街区整備事業

- 1 防災公園街区整備事業とは p10
- 2 UR都市機構が手がけた防災公園 p11
- 3 市街地部分の施設事例 p12
- 4 防災関連公園施設 p13

CHAPTER 4 防災公園の意識調査

 p17

都市を取り巻く社会状況

1 多様な地域課題への対応

まちづくりにおける地域課題には、防災・減災機能の強化以外にも、少子高齢化、まちの活性化や賑わいの創出、地域コミュニティ形成など様々なものがあります。

UR都市機構では、これらの地域課題の解決手法の一つとして、公園緑地などのオープンスペースを活用した取組を実施してきました。このパンフレットでは、防災公園をツールとしたまちづくりの事業手法を紹介していきます。

地域課題 01 公共施設の再編
 老朽化・分散化している公共施設を集約・再編



三鷹中央防災公園

地域課題 02 密集市街地整備
 防災公園周辺の狭隘な道路を公園と一体的に拡幅



西ヶ原みんなの公園

地域課題 03 賑わい創出
 P-PFI等を活用した官民連携による地域の賑わいに貢献



としまみどりの防災公園

地域課題 04 少子高齢化
 市街地部分等に保育園、高齢者福祉施設を誘致



桃井原っぱ公園

2 激甚化する自然災害

近年は、地震災害だけではなく、台風や大雨等による風水害や土砂災害も頻発化しており、多様な災害に対応した防災公園やグリーンインフラの整備による公園緑地の防災・減災効果の更なる強化が求められています。

UR都市機構では、計画対象地の自然地形や地域特性等を踏まえ、多様な災害に対応した防災公園やグリーンインフラの整備により、地域の防災・減災効果を高めるまちづくりを推進してきました。

自然災害 01 浸水・洪水
 雨水貯留槽と多自然型調整池を設置し、地域の浸水被害が減少



中原ふれあい防災公園

自然災害 02 地震・大火
 防火樹林帯と広幅員園路の整備により、周辺からの延焼を防止



大洲防災公園

3 柔軟に使いこなす公園の視点（ニューノーマルへの対応）

ニューノーマルにおいては、身近なオープンスペースが一人一人の様々なニーズに応え、柔軟に活用されることが期待されます。防災公園を隣接する施設等とボーダレスに整備することにより、災害時に発揮する機能が強化されると共に、平常時の活用も広がります。また、防災公園を核として、周辺の小さな公園や広場と防災機能を連携・分担させることで、まちの防災力は更に向上します。

視点 01 ニューノーマル
 公園と隣接施設をボーダレスにつないで一体化



岩倉公園

4 SDGs（持続可能な開発目標）

防災公園街区整備事業は、SDGsが掲げる以下のゴール（目標）への達成につながります。地区毎の特性を踏まえつつ、目標達成を目指しています。



防災公園街区整備事業による都市の課題解決

1 多様な地域課題への対応

地域課題 01 公共施設の再編 三鷹中央防災公園 [東京都三鷹市]

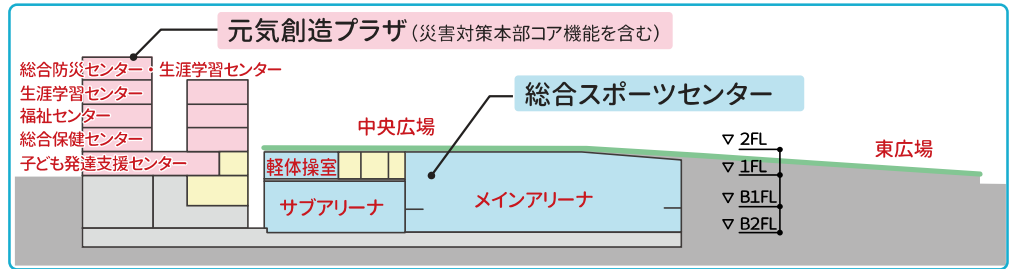
老朽化した公共施設の機能更新・再編

老朽化して耐震上の問題を抱えていた複数の公共施設を、近接する青果市場跡地に整備した元気創造プラザと総合スポーツセンターに集約・再編することにより、市民の健康・福祉・スポーツ等の拠点を創出しました。

画期的な防災拠点を形成

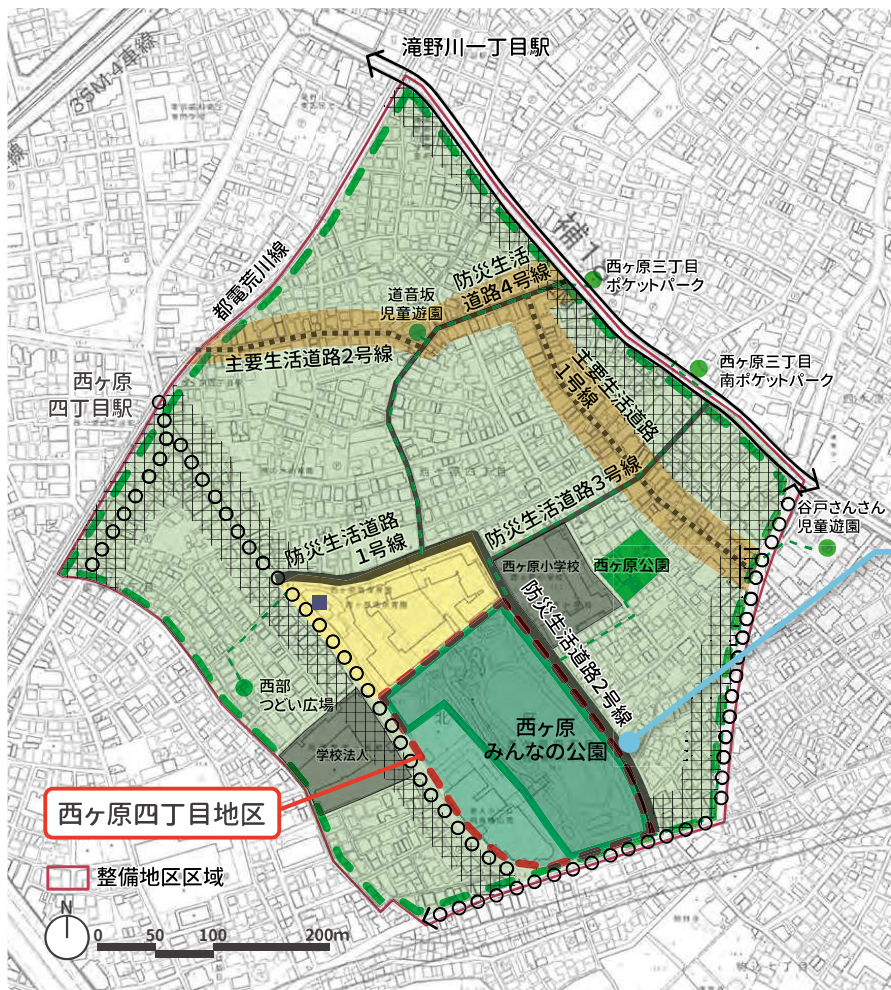
防災公園の地下部分には、体育館、プール、武道場等の高度な運動施設を整備し、地上部には、市内に不足している大きな芝生広場と子どもの遊び場を整備しました。

災害時には元気創造プラザ内に災害対策本部が設置されることになっており、防災公園や立地特性（市役所や緊急輸送道路の結節点に隣接）を活かした画期的な防災拠点を形成しています。



狭隘道路の解消による防災性の向上

当地区周辺地域では、広域避難地へのアクセスに問題があったとともに、地区周辺の道路は狭隘で、住民の避難や消防活動に支障がありました。このため、大学跡地に防災施設を有し、一次避難地となる防災公園を整備すると共に、周辺道路の拡幅整備により緊急車両の進入路ネットワークを確保し、地域の防災性の向上を図りました。



北側・東側道路の拡幅 (幅員 3→8m コミュニティ道路)



凡例	
[土地利用の考え方]	[公共施設整備等の基本的な考え方]
■ 低中層住宅エリア	◀ 都市計画道路 補助 181
■ 住商複合エリア	◁○ 準補助幹線道路 (幅員 9 ~ 12m)
■ 主要道路沿道エリア	◁ 防災生活道路 (幅員 6m以上)
■ 防災公園・公共施設エリア	●●●● 主要生活道路 (幅員 6m程度)
■ 市街地整備エリア	■ 建築基準法第 42 条第 2 項の規定に基づき特定行政庁が指定した道路の拡幅整備 (区域内全域対象)
■ 公園・緑地等 (既存)	■ 細街路整備
■ 身近な公園等を整備する区域	■ 生活環境施設等の整備
■ 学校等 (既存)	

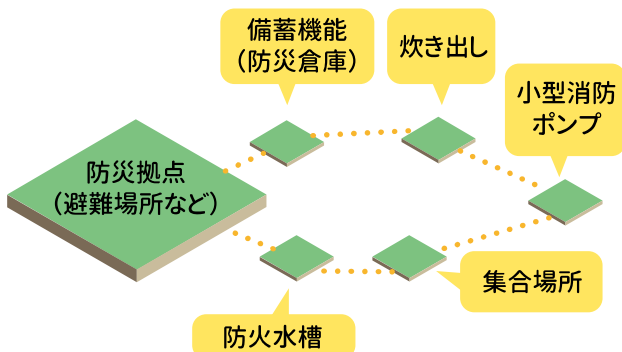
防災機能の連携

防災公園周辺の学校や小公園等の「一時集合同所」と連携し、防災機能や防災施設を分散配置することで、多様な災害に柔軟に対応できるまちの防災機能の向上が期待できます。

防災公園周辺の小公園や広場等を活用した防災機能の分散

この地域では、防災施設や自治会の防災倉庫は、西ヶ原みんなの公園だけでなく、区が整備した周辺の小公園にも分散して設置してあります。

防災機能の分散イメージ



防災公園周辺の小公園・広場・学校

道音坂児童遊園

- マンホールトイレ
- かまどベンチ
- ソーラー照明
- 手押しポンプ
- 防火水槽
- 防災倉庫 (周辺自治会の備蓄倉庫)



谷戸さんさん児童遊園

- マンホールトイレ
- かまどベンチ
- 収納ベンチ
- ソーラー照明
- 防火水槽



西ヶ原公園

- 貯水槽
- 防災倉庫
- 小型消防ポンプ格納庫



まちかど広場

【西部つとい広場】

- ソーラー照明
- 手押しポンプ
- 貯水槽
- 防災倉庫



【西ヶ原三丁目ポケットパーク】

- 防火水槽
- 消火器



【西ヶ原三丁目南ポケットパーク】

- 小型消防ポンプ格納庫
- 消火器



西ヶ原小学校

- 避難所
- 西ヶ原小学校及び西ヶ原みんなの公園で「防災運動会」を開催



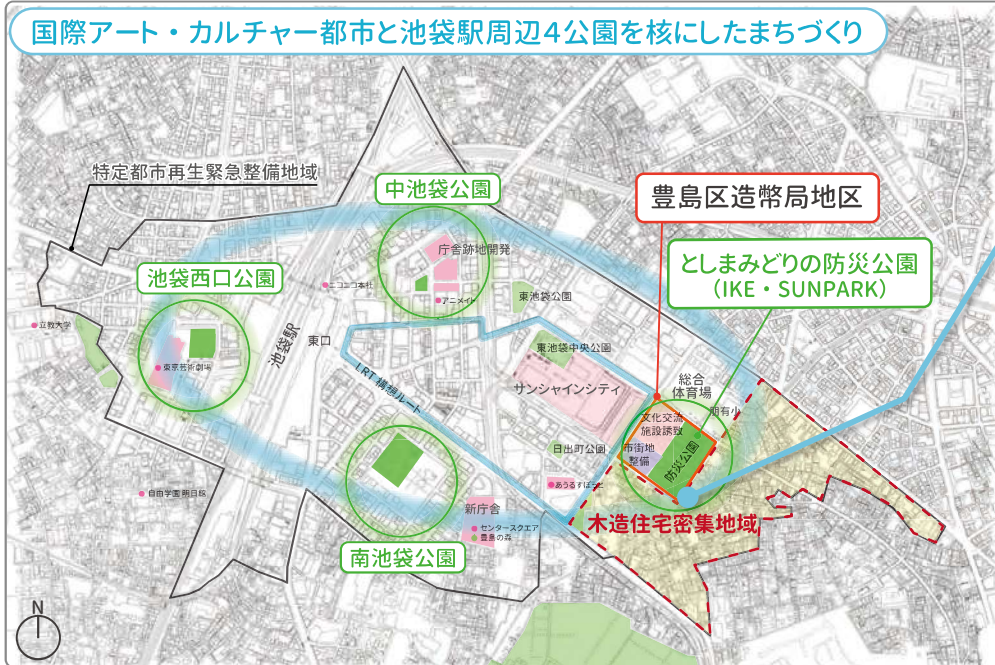
(出典：北区ホームページ)

木造住宅密集地域の防災性向上と賑わい拠点の創出

造幣局の移転による大規模土地利用転換に併せ、災害時の一時避難場所、救援物資の搬入及び集配拠点、傷病者等の搬送を行うヘリポートとしての機能を有し、平常時は P-PFI 制度を活用したカフェ等による地域の賑わいを実現する防災公園の整備、及び周辺道路整備と密集市街地対策用地の確保を実現しました。

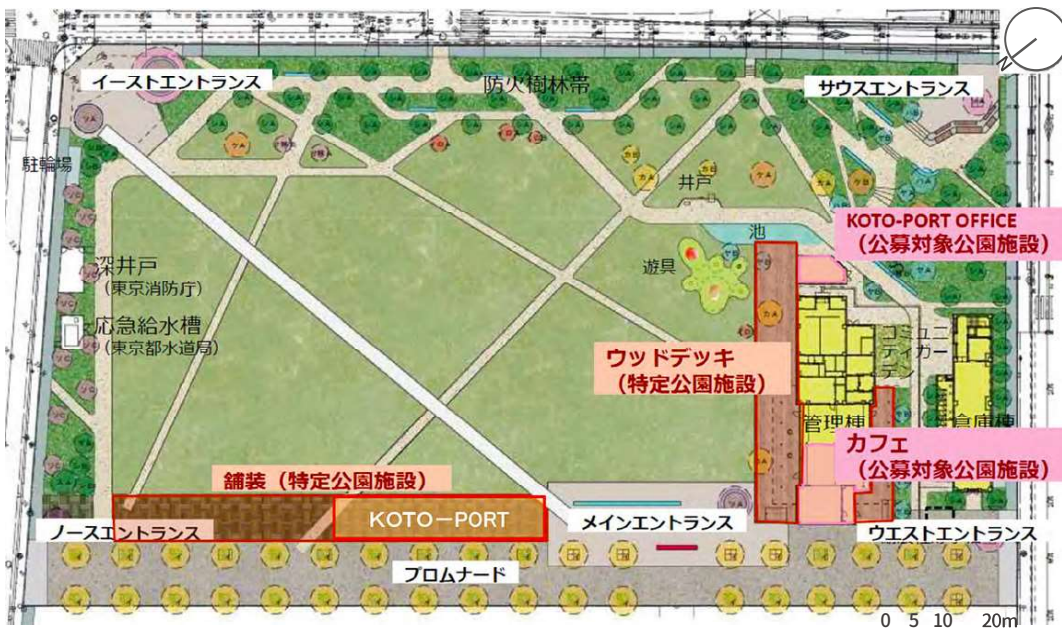


防災公園の整備により木造住宅密集地域からの一時避難場所と避難動線が確保されました。



行政の都市構想の実現

豊島区が掲げる「国際アート・カルチャー都市構想」の実現に向け、池袋駅周辺の南池袋公園、中池袋公園、池袋西口公園に続き本公園を整備。また、公園に隣接する文化交流施設区域には東京国際大学を誘致し新たな賑わいを創出する活気あるまちづくりを推進しています。



P-PFI を活用してカフェを導入



KOTO-PORT (多様な業態を展開する小型店舗)



ヘリポート、一時避難場所にもなる芝生広場



防災用井戸



ファーマーズマーケット



歴史・環境資産を活かした防災公園

国の史跡である安満遺跡と大学農場跡地の歴史・環境資産を保存・活用するとともに、中心市街地に近接する広大なオープンスペースという特性を活かして防災機能を配置した防災公園を整備しました。

官民連携による賑わい空間の創出

「公園を経営する」という方針に基づき、民間事業者と連携し、民間のノウハウやアイデアを活かし、カフェ・レストラン等の賑わい施設を整備するとともに、広大な緑空間を活用したイベントや質の高いプログラムを提供しています。



カフェ・レストラン

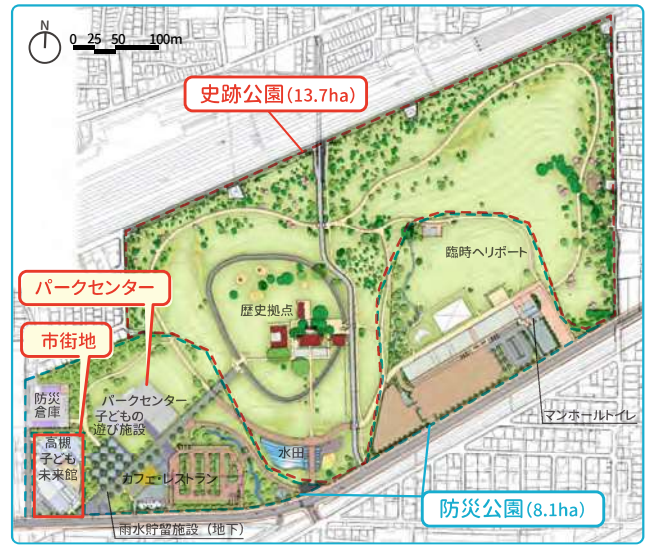
子育て支援拠点の形成

市街地部分には、高槻市が運営する「認定こども園」と「子ども保健センター」を誘致しました。

公園内のパークセンターは、「あそび」について総合的に取り組んでいる企業が運営する全天候型の子どもの遊び施設を誘致しています。



市街地部分の認定こども園と子ども保健センター



高齢者・子育て支援施設の誘致

工場跡地に整備した防災公園に隣接する市街地部分に、地域に不足する高齢者福祉施設と保育園を誘致し、更にファミリー向け集合住宅を誘致して少子高齢化に対応しました。

園庭の狭い保育園や高齢者福祉施設は、防災公園を散歩や運動の場としてフル活用しています。



高齢者福祉施設 (介護老人保健施設)



保育園



保育園の園外保育で防災公園を活用



ファミリー向け集合住宅

2 激甚化する自然災害

自然災害 01 浸水・洪水への対応 | 中原ふれあい防災公園 [千葉県柏市] | さいたま新都心公園 [さいたま市]

二つの施設で浸水・洪水対応

牧場跡地に整備した中原ふれあい防災公園は、地震災害だけでなく、豪雨災害にも対応するため、防災公園内に雨水貯留槽と多自然型調整池を設置したことにより、まちの課題であった浸水被害が減少しました。



雨水貯留槽



多自然型調整池



雨水貯留槽

多自然型調整池



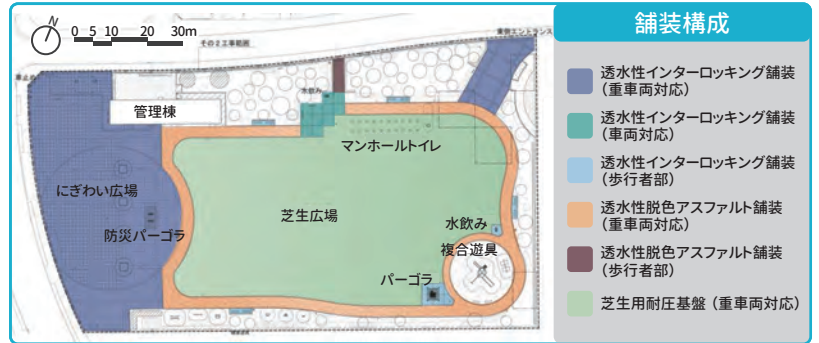
中原ふれあい防災公園

雨水貯留槽

多自然型調整池



さいたま新都心公園



舗装構成

- 透水性インターロッキング舗装 (重車両対応)
- 透水性インターロッキング舗装 (車両対応)
- 透水性インターロッキング舗装 (歩行者部)
- 透水性脱色アスファルト舗装 (重車両対応)
- 透水性脱色アスファルト舗装 (歩行者部)
- 芝生用耐圧基盤 (重車両対応)

水害に強いまちづくり

さいたま新都心公園のにぎわい広場や外周囲路などの舗装には、透水性舗装を使用しており、芝生広場には重車両対応機能と雨水貯留機能を併せ持つ芝生用耐圧基盤土壌を使用しています。公園内の雨水を貯留することが可能であり、周辺下水道への負荷をより低減するグリーンインフラとして、水害に強いまちづくりを実現しています。

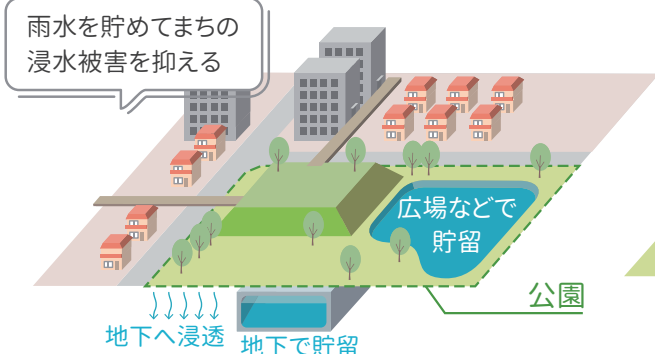


土地区画整理事業と併せて
防災公園街区整備事業を実施

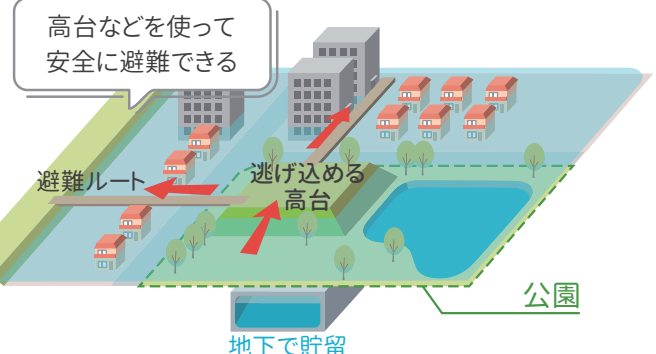


重車両対応機能と保水性を備えた
芝生広場

大雨や浸水・洪水に備える公園とは



急な大雨や豪雨が降っても、公園の広場や地下に雨水を一時的に貯めておくと、まちの浸水被害を低減させることができます。



浸水や洪水への対策では豪雨前の広域避難が重要ですが、逃げ遅れた方が緊急避難できる高台を設け、周辺への避難ルートとつなげておくことで、いのちを守ることができます。



防災公園街区整備事業のプロトタイプ

工場跡地に整備された大洲防災公園は、JR総武線・東京外郭環状道路・京葉道路・江戸川に囲まれた区域に暮らす方々の避難場所として想定しており、同時に周辺の防災施設と連携強化しています。

平常時は、多目的広場やピクニック広場、中央広場などを自由に利用でき、災害時には、一時避難場所となり、隣接する市街地部分に設置されている消防署や急病診療所と連携して、救援や輸送の中継拠点となるための機能を備えています。



大洲防災公園の特色

- ①安全安心なまちづくりの拠点・先進事業となる公園づくり
- ②近隣公園規模における防災公園のプロトタイプ

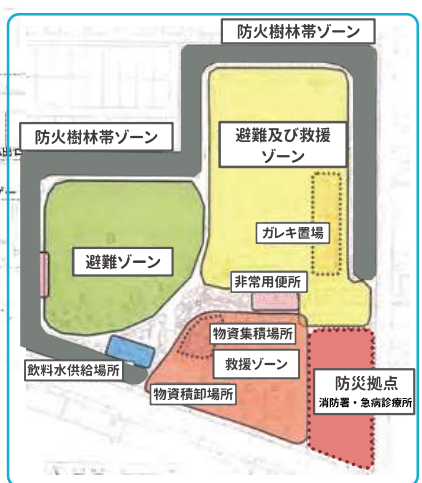
- 周辺市街地や公共施設との一体的整備
- 小規模ながら充実した防災関連公園施設
- 避難と救援のバランスのとれた防災機能
- 広域避難場所や隣接公共施設等との機能的な連携
- 平常時利用と整合のとれた土地利用・デザイン・防災関連公園施設配置
- 住民参加による計画検討と管理運営



1. 消防出張所・急病診療所
2. 火災時に消火用水として活用できる池
3. 延焼防止・輻射熱の遮断のための防火樹林帯に囲まれた園路と広場



- ### 市街地部分
- 消防出張所
 - 急病診療所
 - 在宅介護支援センター
 - ボランティアセンター
 - ファミリーサポートセンター



災害時のゾーニング図

3 柔軟に使いこなす公園の視点(ニューノーマルへの対応)

視点
01

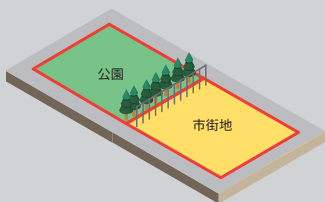
ニューノーマル

岩倉公園 〔大阪府茨木市〕

公園と様々な施設を柔軟に一体的に活用

公園を柔軟に使いこなすため、公園に隣接する施設等の境界をフェンス等で区切ることなく、ボーダレスにし、防災公園と各施設の一体性を高めます。ボーダレスにすることにより、施設間の行き来が活発になり、防災機能や賑わい機能等がアップします。

通常の土地利用

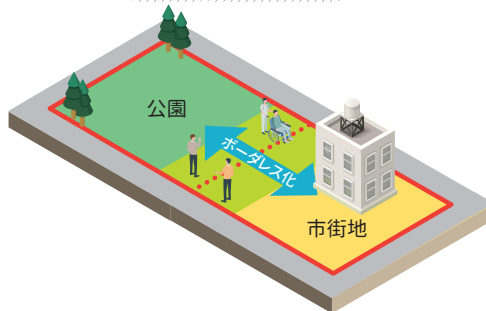


防災公園と隣接する市街地等の境界には、フェンスや植栽帯があり、往来できません。

ボーダレスな活用

point
連携

防災公園に隣接・近接した様々な施設と連携



point
防災

ボーダレスな活用により災害時の利用を促進

境界を区切らず、ボーダレスにすることで、広がりのある一体的なオープンスペースとして活用できますし、公園と市街地を行き来しやすくなります。

隣接する大学とのボーダレスな連携

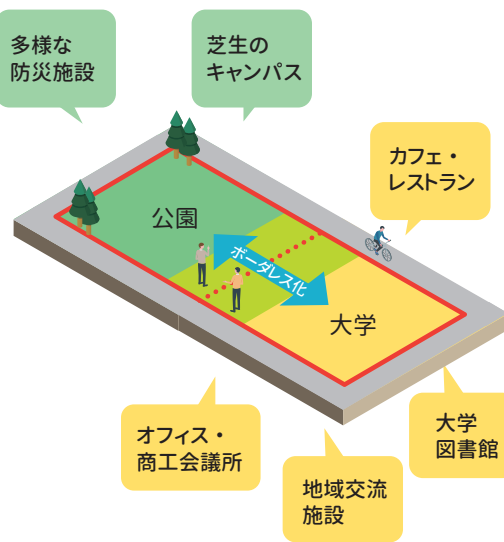


公園と大学の敷地境界線



公園と大学の敷地境界線

どこからが大学でどこからが公園か、一見ただけではわかりません。



多様な防災施設

芝生のキャンパス

カフェ・レストラン

オフィス・商工会議所

大学図書館

地域交流施設



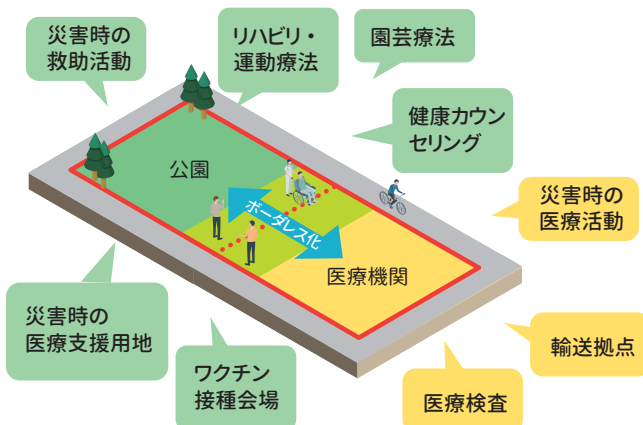
カフェやレストランの入口は公園側に開かれていて、子どもを公園で遊ばせながらお茶をするママも多いです。



大学のキャンパス用地でランチを食べる公園利用者

防災公園と隣接する医療施設との柔軟な連携

代表事例 桃井原つば公園



災害時の救助活動

リハビリ・運動療法

園芸療法

健康カウンセリング

災害時の医療活動

災害時の医療支援用地

ワクチン接種会場

医療機関

医療検査

輸送拠点



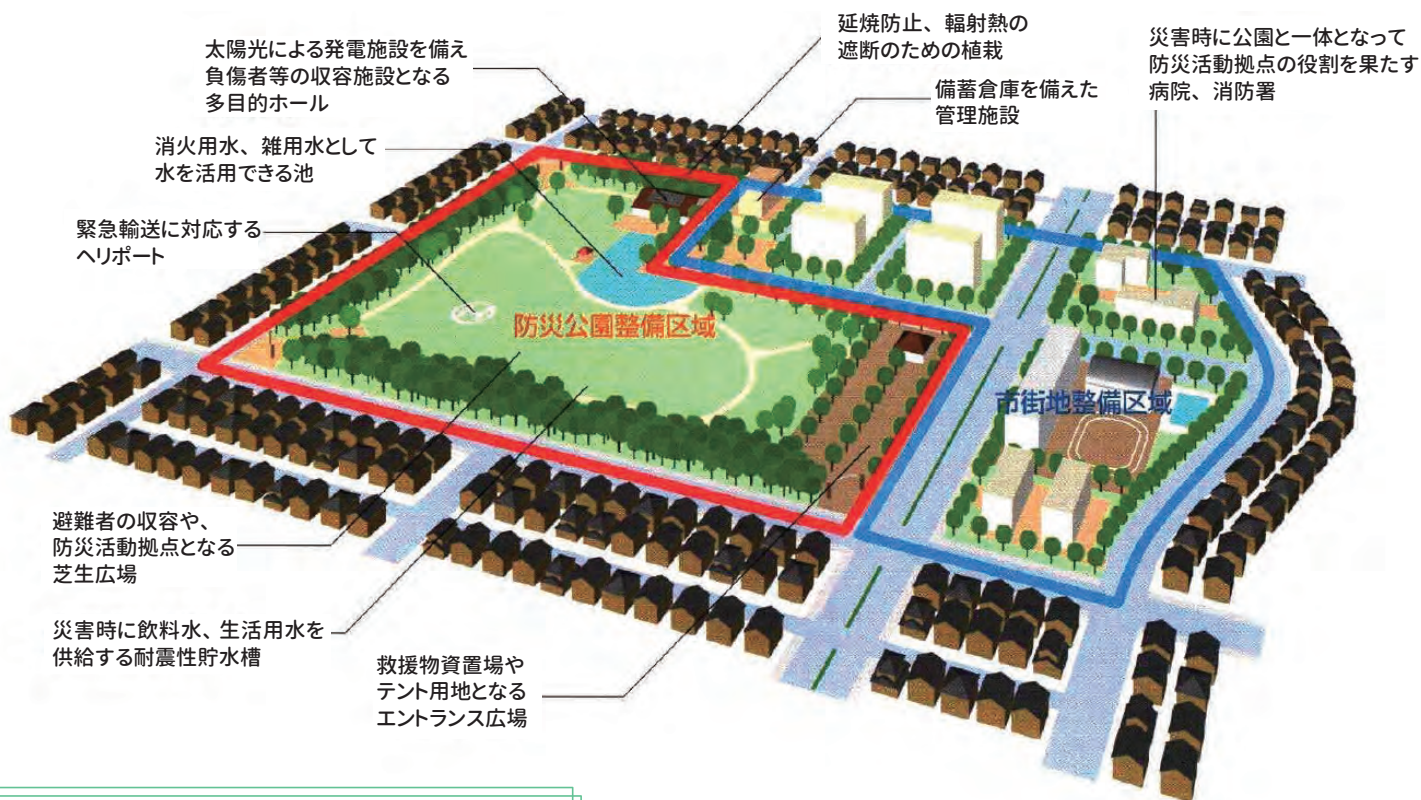
桃井原つば公園は、荻窪病院が近接しており、病院と連携して、新型コロナワクチンの集団接種会場として活用されました。

防災公園街区整備事業

1 防災公園街区整備事業とは

UR 都市機構が行う防災公園街区整備事業は、災害に対して脆弱な構造となっている大都市地域等の既存市街地において、防災機能の強化を図ることを目的として、地方公共団体からの要請に基づき、工場跡地等を機動的に取得するとともに、「防災公園の整備」と「周辺市街地の整備改善」を一体的に実施する防災まちづくりです。

防災公園街区整備事業の整備イメージ



防災公園街区整備事業のメリット

地方公共団体の資金計画を優位にするメリットがあります。

UR 都市機構による防災公園用地の取得

公園部分については、国からの出資金（無利子）を100%充当し 用地購入費を立て替えます（市街地部分については50%）

UR 都市機構による防災公園の整備

UR 都市機構が直接施行により、設計、施工、事務手続きなどを行います

地方公共団体の予算措置

地方公共団体になり代わり UR 都市機構が補助金の申請及び交付を受けます（会計検査対応も行います）

工事完了公告後地方公共団体へ引渡し

一般財源部分の割賦による償還

- 用地費の場合 償還期間20年（5年据置）、無利子
- 施設費の場合 償還期間15年（2年据置）、国土交通大臣が定める年率

	1/3 国費	2/3 地方公共団体負担
用地費	補助金	地方債 90% 一般財源 10%
施設費	1/2 国費 補助金	1/2 地方公共団体負担 地方債 90% 一般財源 10%

起債地方負担90%は平成28年度における起債充当率

2 UR都市機構が手がけた防災公園

No.	都道府県	地区名	公園名	事業面積 (ha)		主な市街地整備内容 (計画時点)
				防災公園	市街地	
1	千葉県	市川市大洲一丁目	大洲防災公園	2.8	0.7	公共事業代替地・消防出張所・急病診療所
2	兵庫県	宝塚市末広町	末広中央公園	4.2	0.8	市民センター・体育館
3	東京都	杉並区桃井三丁目	桃井原っぱ公園	4.0	5.1	分譲住宅・賃貸住宅・商業施設・介護老人保健施設・区道
4	兵庫県	神戸市浜辺通	みなとのもり公園	5.6	0.2	公共公益施設・市道
5	千葉県	柏市中原一丁目	中原ふれあい防災公園	4.8	0.4	高齢者福祉施設・市道
6	大阪府	枚方市北片鉾町	車塚公園	3.8	1.5	人材育成複合拠点施設・火葬場・市道 ※公園用地の整備を含む
7	兵庫県	伊丹市車塚	笹原公園	1.9	0.1	コミュニティー活動センター
8	千葉県	千葉市蘇我臨海	蘇我スポーツ公園	46.0	41.5	商業施設等・市道
9	東京都	豊島区上池袋一丁目東	上池袋東公園	0.4	1.0	賃貸住宅等
10	大阪府	堺市鳳南町三丁目	鳳公園	2.1	0.5	戸建住宅・市道
11	大阪府	高槻市古曽部町3丁目	古曽部防災公園	4.5	0.6	防災センター・市道
12	東京都	北区西ヶ原四丁目	西ヶ原みんなの公園	2.2	2.3	福祉施設・学校用地・民間賃貸住宅・区道
13	大阪府	茨木市城の前町	西河原公園	4.3	0.1	消防分署
14	大阪府	八尾市南木の本三丁目	南木の本防災公園	1.8	0.4	体育館・市道
15	大阪府	摂津市千里丘四丁目	明和池公園	1.1	7.1	分譲住宅・賃貸住宅・市道
16	三重県	鈴鹿市南玉垣・白子	桜の森公園	7.3	17.6	医療・健康福祉施設・住宅
17	神奈川県	鎌倉市岩瀬下関	岩瀬下関防災公園	0.9	0.1	公共公益施設・市道
18	東京都	三鷹市民センター周辺	新川防災公園 (三鷹中央防災公園)	1.5	0.5	総合保健センター等・市道
19	大阪府	茨木市岩倉町	岩倉公園	1.5	1.5	市民開放施設
20	大阪府	高槻市八丁畷	安満遺跡公園	8.1	0.6	子育て関連施設・市道
21	愛知県	犬山城下町	内田防災公園	2.1	2.0	消防署・観光駐車場・多目的広場・市道
22	神奈川県	横浜市鶴見一丁目	鶴見花月園公園	4.3	6.2	住宅・公益的施設・市道
23	福岡県	福岡市城内	(整備中)	3.1	6.5	法曹施設・商業・業務・分譲住宅・市道
24	埼玉県	さいたま市北袋町一丁目	さいたま新都心公園	1.0	11.7	交通広場・商業・業務・住宅・市道
25	大阪府	大阪市北区大深町 (うめきた2期)	(整備中)	4.4	19.3	商業・業務・住宅・交通広場・市道
26	東京都	豊島区造幣局	としまどりの防災公園 (IKE・SUNPARK)	1.7	1.5	文化交流施設・にぎわい施設

令和4年1月時点

3 市街地部分の施設事例

- ・防災拠点である防災公園の市街地部分に防災機能を強化する様々な施設を整備します。
- ・多様な地域課題（密集市街地、少子高齢化、公共公益施設の老朽化等）の解決に必要な施設も市街地部分に整備し、防災機能の強化だけでなく各施設の機能更新・再編など都市機能の向上も図ります。
- ・また、施設を整備するだけでなく、周辺住民や公園愛護会、地域で活動するNPO、行政内の関連部署の取組（防災、消防、福祉、教育、観光など）を進めることが重要です。

防災機能を高める施設

No. p11の表の番号



少子高齢化に対応した施設



賑わい創出に寄与する施設



地域交流・コミュニティ形成に寄与する施設



地域課題の解決に寄与する施設



4 防災関連公園施設

多様化する災害への備え+防災意識の向上（見せる防災）

防災施設は、維持管理を考慮して重装備にすることなく、公園の日常利用を妨げないように災害時と日常時の兼用のデザインに配慮することが重要です。また、公園の利用者が日頃から防災を意識し、非常時に円滑に利活用できるように、サイン等で防災施設の使い方や公園内の配置を確認したり、訓練やイベント等で実際に使用してみることで非常時の共助につながります。

01 入口・園路



代表事例 西ヶ原みんなの公園
避難や諸活動時の入口として避難者や緊急車両等に対応した幅・形状になっています。



代表事例 大洲防災公園
非常時には緊急車両がアクセスしやすい開閉が容易なレール式ゲートになっています。



代表事例 桃井原つば公園
避難や諸活動時の動線として避難者や緊急車両等の通行に対応できる園路になっています。



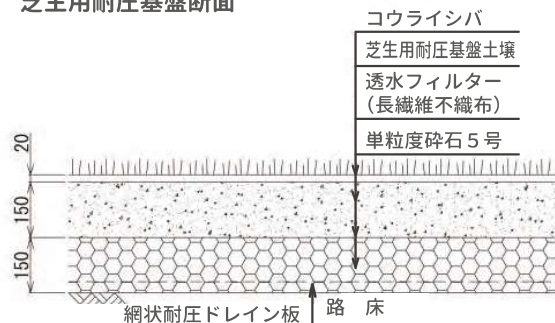
代表事例 西ヶ原みんなの公園
外周形態は、緊急避難時にどこからでも逃げ込めるようにしています。

02 広場

広場は市街地火災時の安全性が確保・考慮された避難広場であり、災害時に想定される諸活動に対応できる規模・性能を持つスペース、応急避難生活や仮設住宅建設のためのスペースです。



芝生用耐圧基盤断面



代表事例 さいたま新都心公園
芝生広場の基盤に、重車両対応機能と雨水貯留機能を併せ持つ芝生用耐圧基盤土壌を使用し、近年の局地的豪雨に伴う水害などに効果的な防災機能も付加しています。



代表事例 安満遺跡公園
公園利用者からの要望が多い、日除け・雨除けとなる大屋根付きの広場は、天候に関わらず使用できます。



代表事例 大洲防災公園
避難機能に支障がないように、多目的広場の防球ネットは、カーテン式を採用しています。



代表事例 としまどりの防災公園
消防・救援、医療・救護、応急物資・救援物資輸送、復旧機材・資材輸送、情報収集等のための緊急用ヘリポートになっています。



代表事例 笹原公園



代表事例 みなとのもり公園

防火樹林帯は市街地火災における延焼遅延や防止、避難広場等の安全性確保のために植栽されています。

防火樹林帯



公園外側

代表事例 大洲防災公園



公園内側

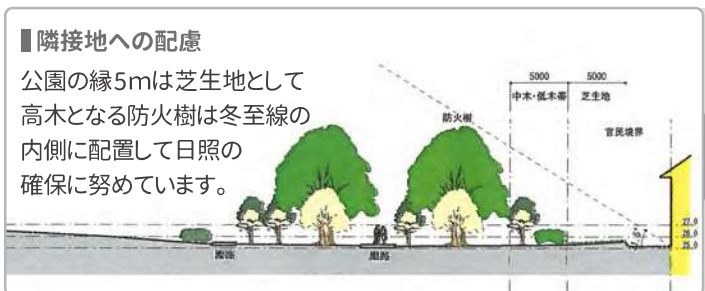


大学の樹木を重機移植

代表事例 西ヶ原みんなの公園



現在の防火樹林帯



隣接地への配慮

公園の縁5mは芝生地として高木となる防火樹は冬至線の内側に配置して日照の確保に努めています。

代表事例 中原ふれあい防災公園



隣接部分



現在の防火樹林帯

代表事例 桃井原っぱ公園

災害時の飲料水の確保を目的として、水道管直結式の耐震性貯水槽の整備を進めています。その他、防災井戸や雨水貯留槽、池・流れなどの水景施設（平常時利用の兼用）、それらの水を浄化する水質浄化施設など、用途に応じた水を確保する施設を整備しています。

耐震性貯水槽



地上部分

代表事例 古曽部防災公園



工事中



組み立て式の給水設備

代表事例 桃井原っぱ公園

防災訓練では、組み立て式の給水設備を使用して、貯水槽から給水する訓練を実施しています。

防災用井戸・非常時用水栓



手押しポンプ

代表事例 中原ふれあい防災公園



防災用井戸

代表事例 三鷹中央防災公園



湧水井戸

代表事例 岩瀬下関防災公園



非常用水栓（井戸水）

代表事例 鳳公園

水景施設



池

代表事例 大洲防災公園



じゃぶじゃぶ池

代表事例 西ヶ原みんなの公園



流れ

代表事例 安満遺跡公園



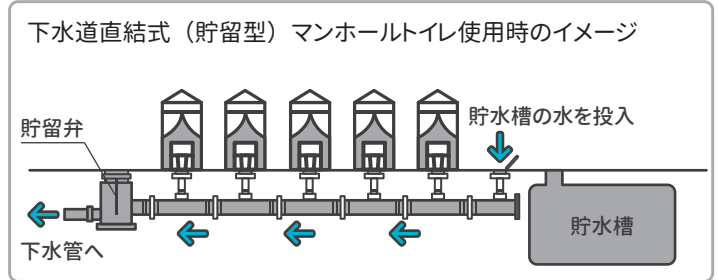
水路

代表事例 桃井原っぱ公園

05 非常用トイレ

マンホールトイレの普及当初は、数（穴数）の確保に主眼がおかれて整備されてきました。昨今では、下水管直結のタイプでも貯留式便槽タイプでも、し尿を流すための水を確保する貯水槽の併設や、便器も洋式タイプの普及など、質の確保や機能向上にも配慮しています。

マンホールトイレ



災害時用トイレ（マンホール以外）



06 備蓄倉庫・管理事務所

備蓄倉庫 備蓄倉庫は市民のための食糧や毛布等の物資の他、災害時に必要となる防災施設を保管する施設です。倉庫の鍵は、自治体だけでなく周辺の自治会など地域住民も管理することで災害時に迅速な対応が可能になります。



管理事務所 管理事務所は、公園の管理・運営体制や公園の規模等によって設置の有無、規模や機能が異なります。災害時の活用を想定した屋内スペースを平常時も市民に開放している管理事務所は多くの人に利用されています。



07 エネルギー・照明関連施設

発電施設は、東日本大震災時の計画停電等を受けて、重要性が再認識され、今後公園施設としても導入が進むことが想定されます。



防災パーゴラ 防災パーゴラや防災あずまやは、平常時は休憩施設として、災害時はテントを張り、防災活動の拠点や救護拠点として活用できるように整備しています。



平常時

代表事例 西ヶ原みんなの公園



テント取付時



雨除けになる屋根

代表事例 鳳公園



開閉式の屋根

代表事例 三鷹中央防災公園

防災ベンチ・スツール 防災ベンチ・スツールは、平常時利用も考慮してビューポイントや木陰の下に設置することも大切です。



かまどベンチ

代表事例 三鷹中央防災公園



炊き出し



かまどスツール

代表事例 大洲防災公園



防災器具収納機能付き縁台

代表事例 鳳公園

多様なベンチ等

大規模災害時に多くの方が防災公園に集まり、ある程度の時間留まることを想定し、休憩施設（ベンチ等）の充実を図ることが求められています。高齢者やファミリー層が多く利用する公園では、ベンチに対する需要が高いため、平常時の防災公園の利用促進の観点からも、休憩施設の充実が重要です。



段差を活用したベンチ



植栽樹に設置したベンチ

代表事例 としまみどりの防災公園



植栽樹を座面として整備



ウッドデッキ

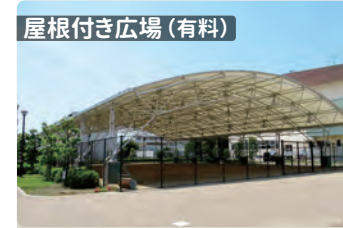
代表事例 みなとのもり公園

屋根付広場 平常時は、日除けや雨除け、熱中症対策や荒天時の避難場所、イベントのステージなど多目的に活用します。災害時は、救援活動スペースや救援物資の荷捌き場として活用します。



大屋根付きステージ

代表事例 末広中央公園



屋根付き広場(有料)

代表事例 南木の本防災公園



屋根付きの人工芝の広場

代表事例 安満遺跡公園



40m×25mの大屋根広場

代表事例 安満遺跡公園

案内板や防災施設の説明サインを設置することで、園内のどこにどのような機能が配置されているか、利用者にも認識されやすくなり、災害時に適切な使用が可能となります。



代表事例 桃井原つば公園



代表事例 大洲防災公園



代表事例 南木の本防災公園



代表事例 西ヶ原みんなの公園

防災公園の意識調査

調査概要

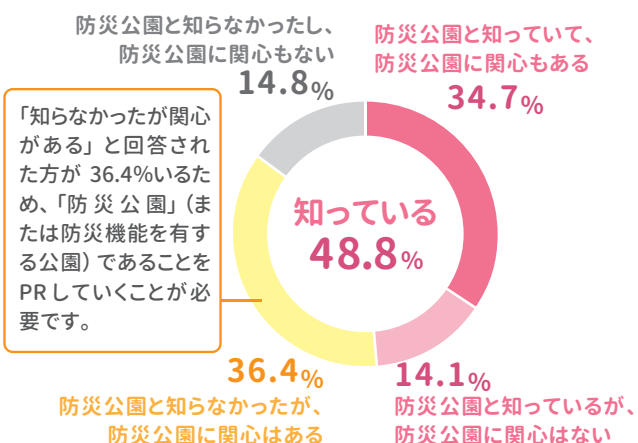
- 調査方法：インターネットリサーチ（WEB アンケート）
- 調査期間：2021年5月31日～2021年6月2日
- 回答者数：1,209人（女性51.4%、男性48.6%）

調査対象者

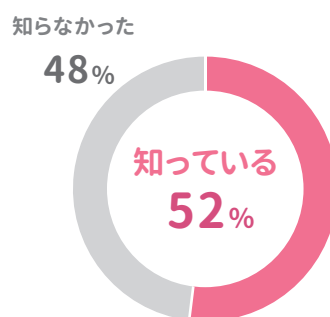
URが手がけた防災公園街区整備事業の公園から、5箇所を選定し、各公園から半径1 km 圏内にお住まいの方を対象としてWEBアンケートを実施しました。

アンケート結果

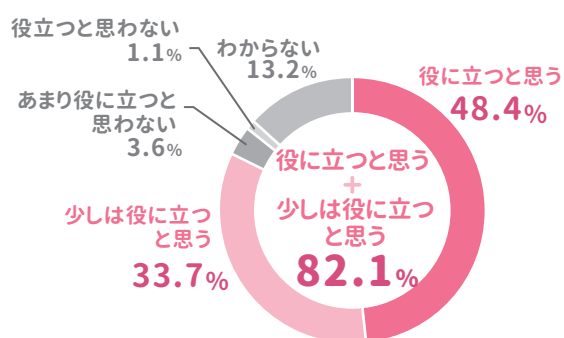
Q1 この公園が防災公園であることを知っていますか？



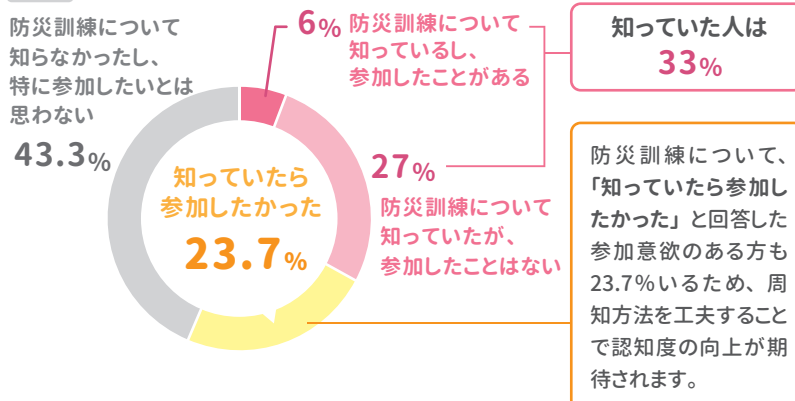
Q2 この公園が避難場所に指定されていることは知っていますか？



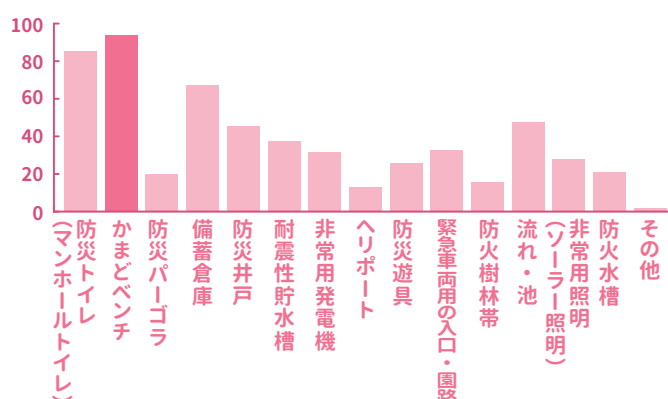
Q3 災害時に役に立つ公園だと思いますか？



Q4 防災訓練に参加したことはありますか？

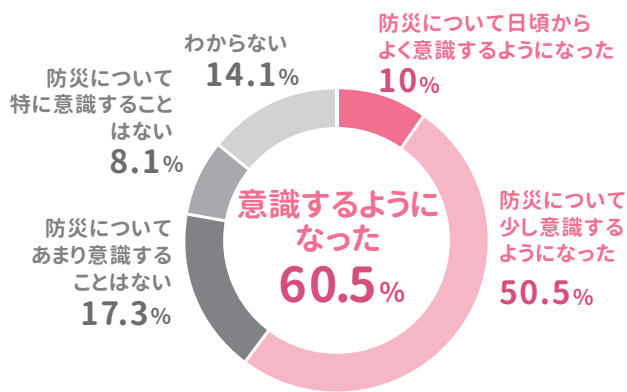


Q5 この公園に整備されている防災施設を使用・活用したことがありますか？

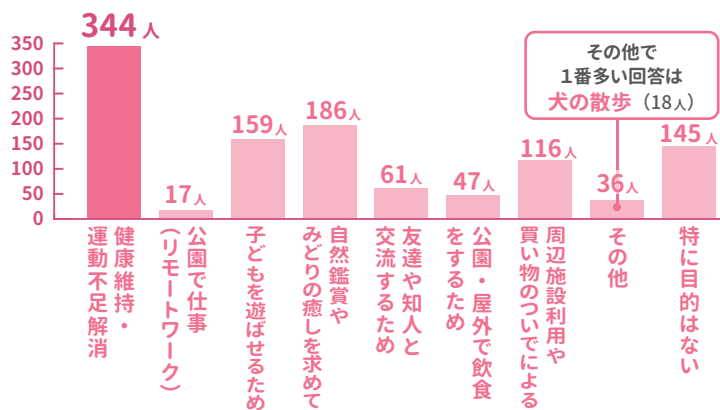


防災訓練やイベントなどで使用されることが多い「かまどベンチ」や「防災トイレ」が1位と2位になっており、使用方法を認識されている利用者が多いことがわかります。

Q6 防災施設があることで、「防災意識」向上・啓発につながりましたか？



Q7 コロナ禍における公園の主な利用目的はなんですか？



公園で活動している地元団体の声

Q1 この公園は災害発生時に役に立つと思いますか？



全部役立つと思う。

いくつかある大きな町会の真ん中に防災公園が位置しているため、災害が発生したら一斉に防災公園に避難することになっている。市民の知名度・利用頻度も非常に高い。

住んでいる地域で断水が発生したときに、防災倉庫に保管していた耐震性貯水槽のポンプを使用して給水した。災害井戸が設置してある近隣の学校の水では足りず、水を求めた多くの市民が公園にも集まったため、役所に要請して、断水から半日後、防災公園の耐震性貯水槽を使用させてもらった。その後、役所と協議し、耐震性貯水槽を使用する鍵は、町会の防災部の方などが管理している。

断水時は、役所の担当者の到着が遅れていたため、たまたま市民の中に耐震性貯水槽のポンプを扱えるものがあり、市民で協力して給水作業を行った。



Q2 防災公園の整備や隣接する新たな施設（道路の拡幅、消防署・福祉施設・集合住宅などの新設）が出来たことにより、地域のまちづくりの課題解決に貢献したと思いますか？

貢献したと感じる。街が元気になり、若い人が増えた。

以前は大きな店舗が無かったが、集合住宅の1階に食品も扱うドラッグストアが出来て便利になった。



防災公園ができる以前は、町会同士の交流や地域住民の交流があまり活発ではなかったが、公園ができたことで、協議会が発足し、地域交流の場ができ、町会同士や住民同士のつながりや交流、連携が活発になった。

Q3 コロナ禍により公園での活動や利用に変化がありましたか？

とにかく公園利用者が多くなった。若い人が増えた。

緊急事態宣言の時は小学校も閉校していたので、行き場のない子供が多く来た。防災訓練などの行事やイベントはほとんど取りやめとなった。



利用者数は普段の倍くらいに増えた。

若い家族やサラリーマンなど、今まで利用していなかった人の利用も増えた。散歩の人や体を動かすことを目的に利用している人が多かった。

防災公園街区
整備事業
を活用した
まちづくり

——— 街に、ルネッサンス ———



独立行政法人 都市再生機構

都市再生部

〒231-8315

神奈川県横浜市中区本町6-50-1横浜アイランドタワー7階